

共同通信社

第三回全国スポーツ懇話会

2014年2月17日(月)

共同通信社 22F会議室

演題

『部活動で勝てるチームの作り方、難しさ』

～毎年、生徒が入れ替わるなかで安定した成績を残すには～



講師 名古屋商科大学野球部監督

元PL学園高校野球部監督

中村 順司 氏

(なかむら じゅんじ)

1946年、福岡県中間市生まれ。PL学園、名古屋商科大学卒業。その後、社会人野球で7年間選手とコーチを経験し、76年に母校PL学園のコーチに就任、80年に監督となる。翌81年春には甲子園出場を果たしいきなり優勝。以後、84年の決勝戦で敗れるまで甲子園20連勝を達成。87年の春夏連覇をはじめ 春夏各3回優勝など、監督として甲子園通算で58勝(10敗)を挙げる。この間、桑田真澄(元巨人)、清原和博(元西武)、立浪和義(元中日)、松井稼頭央(楽天)をはじめ、多くのプロ野球選手を育てる。98年春のセンバツを最後に勇退し、同じく母校の名古屋商科大学監督に就任、後進の指導に情熱を燃やす。「球道即人道」をモットーに、その卓越した野球理論と指導力は各方面から高い評価を得ている。

主催：共同通信社

後援：公益財団法人全国高等学校体育連盟・公益財団法人日本中学校体育連盟